

A Great Egret with a long neck and a black cap stands on a weathered concrete pier. The pier extends from the bottom center towards the right, meeting the water. The water is a vibrant turquoise color, transitioning to a deeper blue further out. The sky is a clear, pale blue. The bird is facing left, with its long neck extended forward.

生命とこころ

いばらき診療所
照沼秀也

心にうつりゆくよしなし事を、そこはかとなく 書きつくれば、あやしうこそものぐるおしけれ

- 心とは何でしょう？
- フロイトは人間の精神構造を思い出せること出せないことなどから、三層に分けました＜意識、前意識、無意識＞です。さらに臨床研究を進めるうちに欲望を満たそうとするエス、法や現実に従って動的葛藤を調整しようとする自我、良心や道徳により本能を抑制する超自我の3つがあるとの結論に達しました。
- また、エス、自我と超自我は道徳や法により常にぶつかり合いを繰り返していると結論づけました。
- このエスを自我や超自我により抑圧した結果、神経症が起これと考えました

共生反射と好奇反射

- 動物の中で自分が死ぬことを知っているのは人間だけ？
- 生命現象を死から捉えると苦痛が生じる。(死を知ったための恐怖)
- 共に生きる共生から考えると勇気がわく。(看取り)
- 共生は人間の本能か？何歳ぐらいから生まれるところか？
- 共生反射は社会を生み、好奇反射は科学を生む
- 社会の貧富の差は経済学の破綻か？(その日暮らしの人類学)
- 行動のモチベーションは善悪か苦楽か儲かる損、容易か大変か
- 感情は行動のエネルギーになるか？

抑圧が生み出すもの

- 抑圧から自我を守るために、いくつかマイナス感情が生まれます。不安、恐怖、苦痛、悲哀、怒り、攻撃心などです。
- 現在の精神医学では身体表現性障害、強迫性障害、不安障害(社会不安障害＝視線恐怖症)、パニック障害、PTSDという疾患名がついています。

不安、恐怖、苦痛、悲哀、怒り、攻撃心などは芸術のテーマとして取り上げられます

- 不安＜アンドレ コウホ、キリコ、スジスワフ ベクンスキー、ムンク＞
- 恐怖＜ウィリアム ブレイク、ダリ、フランシス ベーコン、エミール ノルデ＞
- 苦痛
- 怒り＜ ヴェチェリオ、アルテミシア ジェンティレスキ＞
- 悲哀＜浜田知明＞

多くの芸術家がマイナス感情を表現しています

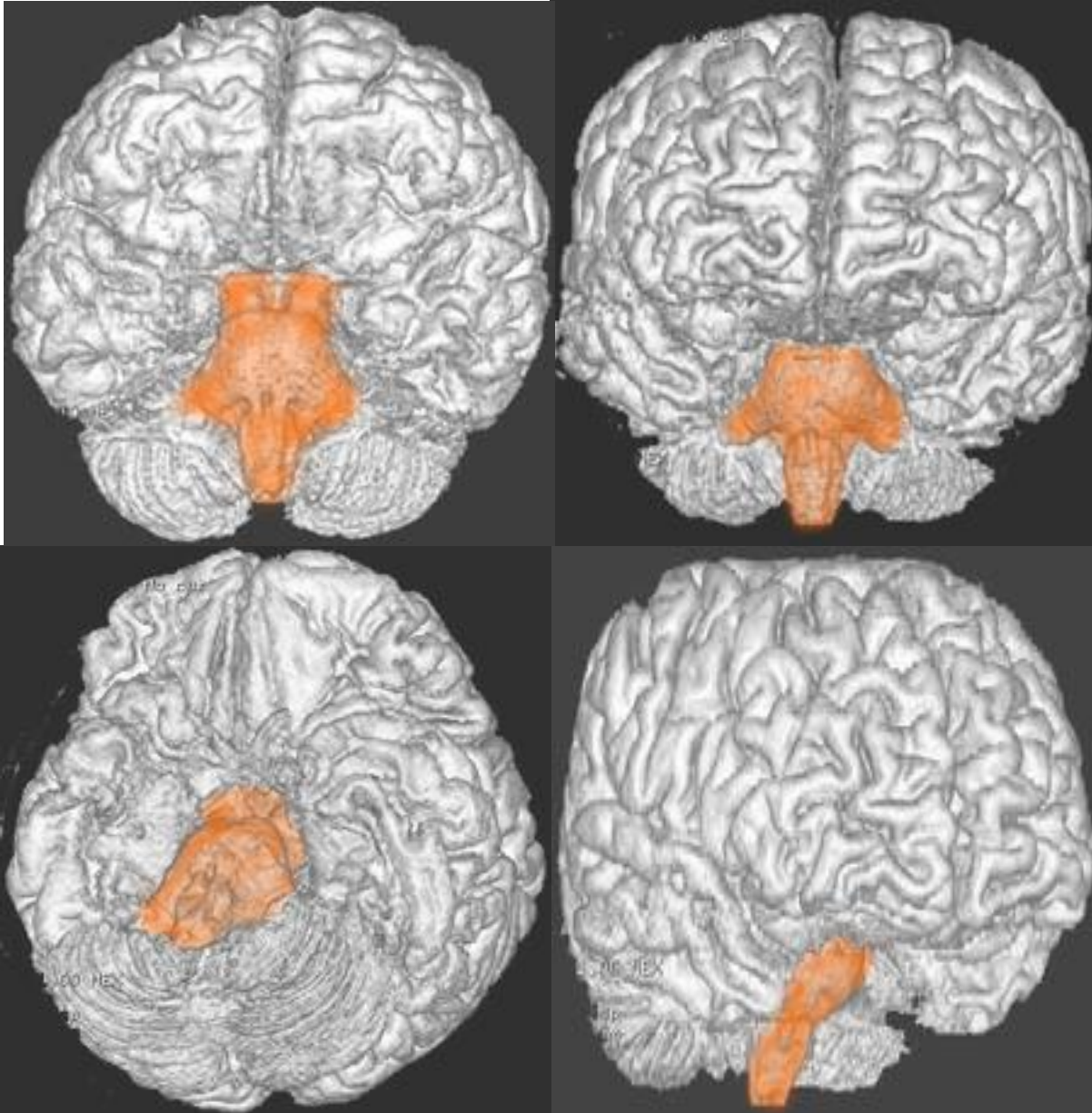
バイタルサイン、意識

- 血圧、呼吸、心音
- 意識
- 1, 覚醒している
 - 1－0意識清明
 - 1－1見当識は保たれる
 - 1－2見当識障害がある
 - 1－3自分の名前生年月日がいえない

意識レベル

- II 刺激に応じて一時的に覚醒する
 - II－10 普通の呼びかけに反応する
 - II－20 大声の呼びかけ、強く揺ると開眼する
 - II－30 痛み刺激で開眼する
- III、刺激しても覚醒しない
 - III－100 痛みに対して払いのける
 - III－200 痛みに対して手足を動かしたり、顔をしかめる
 - III－300 痛み刺激に対して全く反応押さないsx

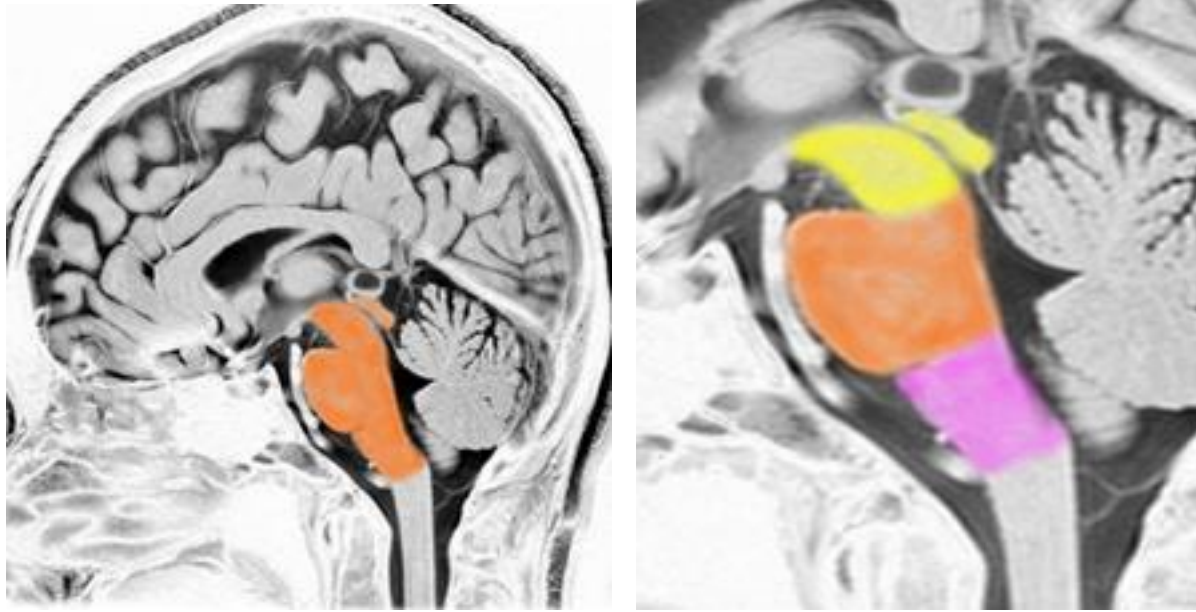
意識中枢



脳幹部は脳の中でも最も重要な部分です

脳幹部の働きが全くなってしまうと脳死になると考えてください

脳の底面からしか見えないのでいろいろな角度から見ています。

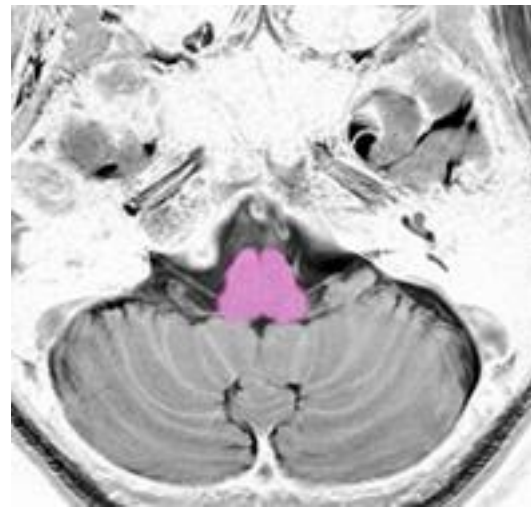
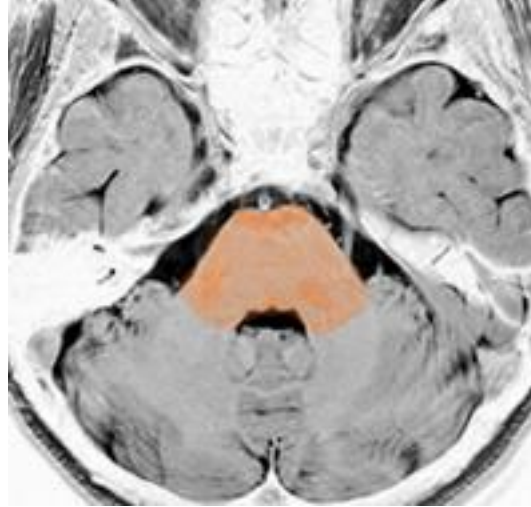
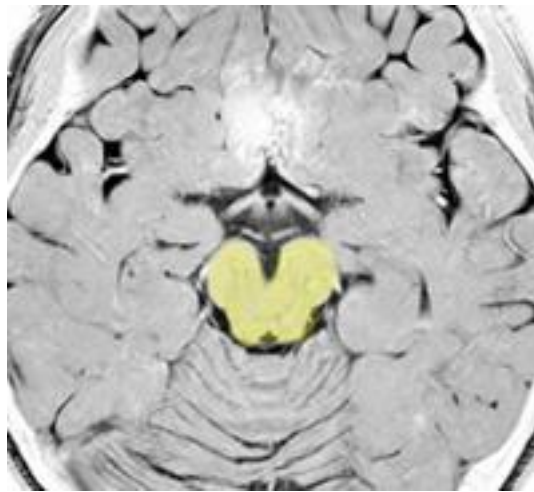


これは脳の中心部を縦切りにした写真です。脳幹部は上から順に、中脳 midbrain（黄色）、橋 pons（オレンジ）、延髄 medulla oblongata（ピンク）と呼ばれます。共通しているのは脳幹部の障害では意識障害が出ることです。四肢麻痺も出ますし、全身の感覚障害、運動失調も出ます。

中脳は、意識の中樞。第3脳神経（動眼神経）、第4脳神経（滑車神経）が出ます。

橋からは、第5脳神経（三叉神経）、第6脳神経（外転神経）、第7脳神経（顔面神経）、第8脳神経（前庭神経と蝸牛神経）が出ます。

延髄には、呼吸中枢、血圧の中樞、嚥下（飲み込み）の中樞があります。第9脳神経（舌咽神経）、第10脳神経（迷走神経）、第11脳神経（迷走神経）、第12脳神経（舌下神経）が出ます。



左から、中脳、橋、延髄です

脳神経外科 澤村 豊 ホームページ より

心は体のどこにあるのか？

- 心、脳、皮膚、内臓、細胞、DNA(遺伝子)
- 心臓(どきんー自律神経、vip)
- 内臓(腹に響くー腸内ホルモン、血管作動性腸管ペプチドvip)
- 皮膚(肌感ー血流アドレナリン、触覚、)オキシトシン
- 遺伝子(AUTS2遺伝子) 薬物中毒、自閉症、統合失調症＜国立精神、神経医療センター＞

注、vipは主に腸管にあるホルモンだが脳の視交叉上核で体内時計や乳汁分泌、心では冠動脈拡張関わるホルモン

心の作品

- 自分の心(魂)と同期、共振する作品(舟越保武、清宮質文など)
- ストレスの多い時代にはマイナス感情、和の感情の芸術が多くの人
の心と同期する。
- こころの救いを自分以外に求めると宗教が生まれる(共生反射)
- 黒いマリア像(ネグロスバコロドの大聖堂)→黒い住民が多いとマリ
ア様も黒くなる
- 神像(仏、キリスト、ヒンドゥー)仏の世界、キリストの世界、ヒンドゥー
の教えを自分の心と共振できる会画、彫像
- 神像をつくらない宗教(イスラム、フレンド教など)→文章が神像の代
わりをする

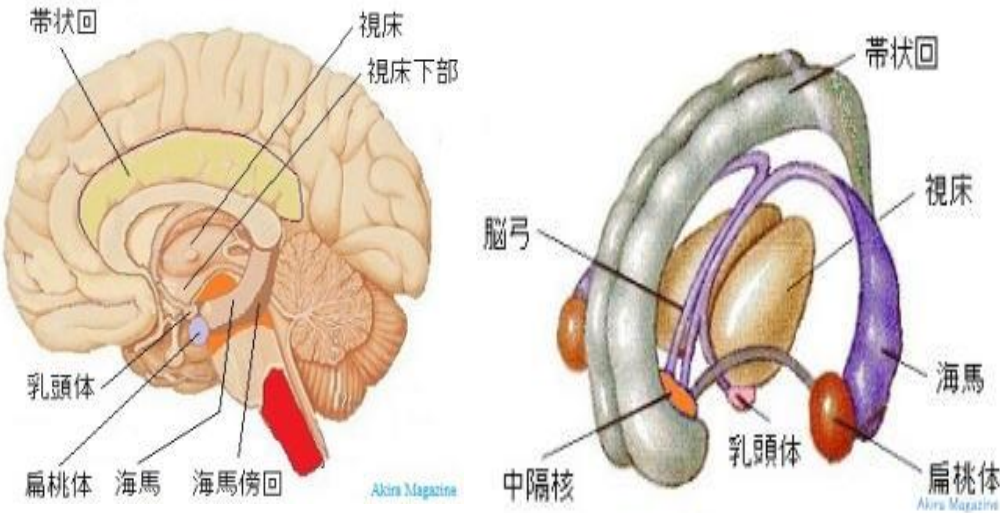
感情

- 感情とは、心で発生したシグナルを大脳辺縁系（扁桃体）で処理した際に起こる変化→情動反応
- 感情を情動反応定義すると、哺乳類、鳥類、魚類、爬虫類、両生類、まで共通する感覚、昆虫にはないらしい
- 爬虫類は大脳皮質と辺縁系が未発達
- 魚類は大脳皮質がない。
- 情動反応が大脳皮質で処理されたとき、悲しい気持ちになったことがわかる。
- 情動反応は自律神経や覚醒中枢をダイレクトに刺激する。涙、動悸

大脳辺縁系

大脳辺縁系の機能・概略

大脳辺縁系（だいのうへんえんけい）は、人間の脳で情動の表出、食欲、性欲、睡眠欲、意欲、などの本能、喜怒哀楽、情緒、神秘的な感覚、睡眠や夢などをつかさどっており、そして記憶や自律神経活動に関与しています。



皮質辺縁系・部位名		役割	役割
皮質	前帯状皮質	血圧、心拍数、報酬予測、意思決定、共感、情動といった認知機能に関与。	本能や自律神経、記憶を司る。 (感覚的思考)
	帯状回	呼吸器の調節、意思決定、共感、感情による記憶に関与。	
大脳辺縁系	扁桃体	恐怖感、不安、悲しみ、喜び、直観力、痛み、記憶、価値判断、情動の処理、交感神経に関与。	
	海馬	目、耳、鼻からの短期的記憶や情報の制御。恐怖・攻撃・性行動・快楽反応にも関与。	
	海馬傍回	自然や都市風景など場所の画像のような地理的な風景の記憶や顔の認識に関与。	
	側坐核	快感を司っています。（GABAの産生が最も主要）	

視線とは何か？＜本当にあるのか？＞

- ・視線を感じることはありますか？

＜感じる→何らかのエネルギーが目から発生する？＞

電子雲的な波動としてのとらえ方？

- ・人の感覚は波動変化を捉えられるか？

光のない空間で人は声のない生命体を感じ取れるか？

体温、呼吸、心拍動、ホルモン(アドレナリン、VIPなど)

→微量電子の動き(魚類の一部ではえさ探しに用いられる)？

達人は何をどの感覚器で感じているのか？耳、目、皮膚、そのた。

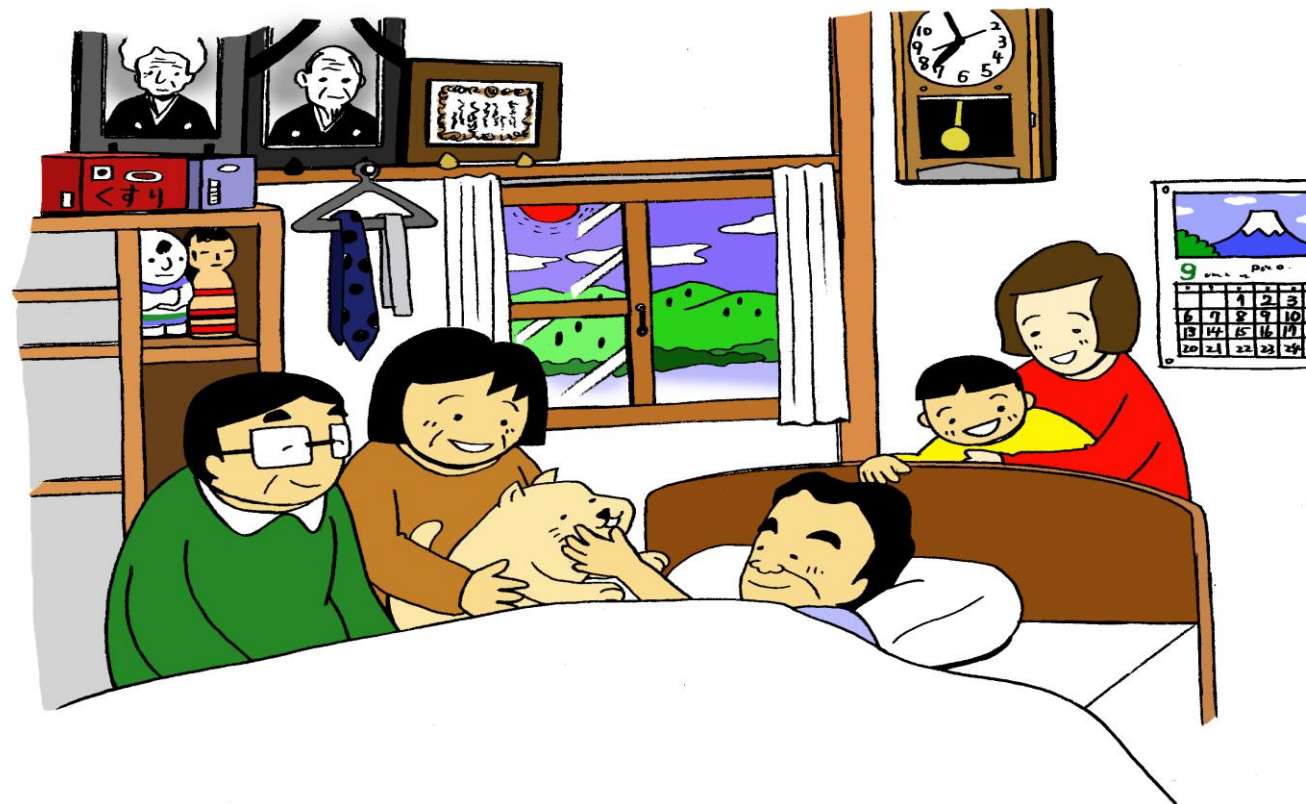
人生において最大のストレスは最愛の人との死別である

- どのような死別がいいのか？
- 死別する場所＊病院、施設死、在宅死、
- 死別の種類
- 病死および自然死
- 不慮の外因死→外因死（交通事故。転倒、転落。溺水。火災による障害。窒息。中毒。その他）
- その他および不慮の外因死→外因死（自殺。他殺。その他不慮の外因死）
- 不慮の死
- 安楽死（殺人罪）↔緩和ケア（LSD long sadation until death）
- 日本人は精進で比叡山の昔から行っていた。（西行法師）

看取り(最期の過ごし方。自分の人生の最期を誰と過ごすか。家族や犬やネコ)

- 身寄りのない人。介護スタッフ。看護師さん。
- 身寄りのいる人。家族。犬。猫(できれば感情のある生き物がベター)
- 家族のある方(ご縁があり、一緒にいる人や動物<できれば哺乳類>)
- 一人の方(さびしさをあまり感じない人は最期の数日まで一人で暮らせます。最期の一日、二日は家庭と同じような施設で過ごせるとよい、できればホテルより旅館)
- 施設にいる方(施設で最期までいられるかどうか聞いてください?)施設にいる方は同意書(裁判対策)が必要です。ご自宅にいる方は何も必要ありません。
- 自然な看取りは脳内モルヒネを増やすため

④自然な経過で



マンガ認知症のある人って より

喪にふす

- 心的障害(PTSD)の治療薬は時間である。(3年、三回忌)
- 薬(SSRI,SNRI,NaSSA)もサブリもある。
- 食事はトリプトファンリッチな食物が良いが、胃腸も弱っているため肉類は受け付けないこともある。
- 春秋戦国時代(中国)親の喪は3年であつたらしい(裕福な階級)
- 現代の日本はおおむね一週間。(喪中の年賀はがきは出すが、しっかりとした休みを一年取る人は少ない)
- グリーフケア

医療と美術のリエゾンにある究極は感情の世界

- 診察とは疾患に対する科学的アプローチを中心とするが、察とは察することで、表現する際は患者との感情の同期という点で美術と似ているかもしれない。
- 例) 日本人にずっと生き続ける感情が自分の中に見つけられた時、多くの人と感情の共有が可能になる(岸田劉生、佐藤忠良など)
- 生きるとはマイナス感情、プラス感情、生老病死よりの救い、自然との同期など、様々な感情の中に自分のすみかを見つける作業なのか？
- 最愛の人(生き物)との死別の悲しみをも乗り越える、生命の強さはどこから来るのか？忘却の能力の正体は脳内モルヒネ？
- 医療の最終形態は親身になった医療です。(患者との共感)

生命とは何でしょう？

自然科学における生命 4種類の核酸DNA 20種類のアミノ酸、
増殖と代謝、生命の起源

宗教における生命 共生、社会から宗教へ発展、輪廻などの精神世界
生命観、生命論 論理的思考
感性の世界 察してみましょう